

2014 年 8 月 7 日

報道関係各位

東京ミッドタウンマネジメント株式会社

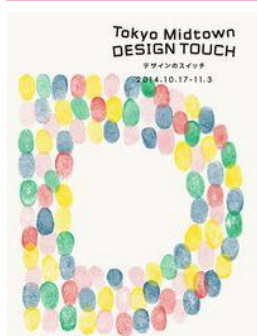
デザインの現在(いま)が集結！東京を代表するデザインの大型イベント 「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2014」開催

デザインと科学が体感できるイスがいっぱいの「スワリの森」が登場！

一流クリエイターが提案する、デザインと触れ合う「森の学校 by 六本木未来会議」が開校！

大人も子どもも楽しめる、東京ミッドタウンがデザインで埋めつくされる 18 日間

10 月 17 日(金)～11 月 3 日(月・祝)



東京ミッドタウン(事業者代表 三井不動産株式会社)は、デザインの現在(いま)を、東京のまん中で発信する秋のデザインイベント「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2014」(東京ミッドタウン デザインタッチ 2014)を、2014 年 10 月 17 日(金)から 11 月 3 日(月・祝)まで開催いたします。

「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH」は、「デザインを五感で楽しむ」をマスターコンセプトに、2007 年より毎年開催し、昨年は延べ約 143 万人の来街者を迎えました。デザインに深い関心のある方から、初めてデザインのイベントにお越しになる方まで、幅広い層にご満足いただける多くのイベントが、今年も東京ミッドタウンに集結します。

Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2014 今年のテーマは、「デザインのスイッチ」

身近にあるモノやコトが、デザインのチカラをプラスするだけでちょっとワクワクしたり、素敵になったり。いつもの暮らしのなかで、そんなときめきをキャッチする「デザインのスイッチ」は、きっと誰もが持っているはず。本イベント開催を通して、このスイッチをいつもより多く押し、心の刺激となるような、多彩なコンテンツをご用意いたしました。

大人から子どもまでみんなで楽しめる！「デザインのスイッチ」を刺激するコンテンツ

- **スワリの森 DESIGN × SCIENCE**
芝生広場に、科学の不思議と遊べるデザイン性豊かな椅子が多数登場！有名クリエイターも参加するカラフルで様々なデザインの椅子が並び、あなたの「デザインのスイッチ」を刺激します！
- **森の学校 by 六本木未来会議**
週末に開催される、クリエイターによるワークショップや
青空ライブラリーを秋の空の下で楽しもう！



▲左から、スワリの森／ワークショップ(イメージ)

デザインの現在(いま)をじっくり味わえる！多彩なコンテンツ

- **DESIGN TOUCH Conference**
トップクリエイター陣による、1 日限りのデザイン・カレッジが開校！
- **Salone in Roppongi**
ミラノサローネで世界を魅了した「日本のデザイン」、吉岡徳仁氏のインスタレーション
- **MAKE HOUSE 一木造住宅の新しい原型展**
日本を代表する気鋭の建築家 7 人が挑む、「これからの新しい住宅」


▲左、参加クリエイター(大宮エリー、谷尻誠)
右、Salone in Roppongi 吉岡徳仁「SPARKLE」

様々な方向から「デザインのスイッチ」をオンできるコンテンツラインナップ！

- 映像インスタレーション by WOW / Presented by Smart Canvas
- INADA Stone Exhibition—Earth & Craft Park—
- デザインタッチ アット ザ・リッツ・カールトン東京
- マツダデザイン展示
- 「デザインのスイッチ:これからのライフスタイル」展
- Tokyo Midtown Award 2014 受賞作品発表・展示
- 富士山グラスで乾杯！

詳細は次頁よりご参照ください。

■掲載時の一般の方のお問い合わせ先■ 東京ミッドタウン・コールセンター TEL : 03-3475-3100

■東京ミッドタウンホームページ■ www.tokyo-midtown.com

スワリの森 DESIGN×SCIENCE

東京ミッドタウンの芝生広場に、おどろきと発見あふれる不思議なチェアが多数登場！

「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2014」のメインコンテンツ「スワリの森」。都会のまん中に広がる芝生広場が、『デザインのスイッチを ON する』広場になります。あなたも思わず座ってみたくなる、デザインと科学がコラボした多彩なチェアが登場します。

新進気鋭のクリエイティブディレクター古屋遙と、科学の楽しさを伝える創造集団ガリレオ工房が手掛けるチェアは、ひとつひとつに“科学のふしぎ”を体験できる仕掛けがあります。広場の中心には、みんなで座りたくなる巨大な「切り株チェア」。そして、ふたりが釣り合いをとらないと座れない「ハートバランスチェア(重心)」、「秘密を打ち明けたくなるチェア(放物線+集音)」、「座ってあたためるチェア(伝熱)」など、デザインと科学が結びついて生まれる、たくさんの刺激的で楽しいチェアが芝生広場に並びます。

また、アーティスト 鈴木康広、クリエイティブユニット magma、デザイナー鈴木啓太、建築家 大西麻貴 + 百田有希 / o + h(21_21 DESIGN SIGHT「活動のデザイン展」より特別出展)など、人気のクリエイターたちもゲスト参加。デザインマインドあふれるチェアに座り、『デザインのスイッチ』を刺激していただける企画です。



▲スワリの森(イメージ)

- 【期 間】 10月17日(金)～11月3日(月・祝)
- 【主 催】 東京ミッドタウン
- 【企画制作】 NHK エデュケーショナル
- 【時 間】 11:00-18:00 ※雨天一部中止
- 【参加費】 無料 【入 場】 自由
- 【場 所】 ミッドタウン・ガーデン 芝生広場



▲ハートバランスチェア(イメージ)



▲座ってあたためるチェア(イメージ)

古屋 遙 / Haruka Furuya

クリエイティブディレクター/演出家

1986年東京生まれ。

ドイツ、イギリスで演劇(空間、映像、音楽、ダンス)の総合演出を経て、広告業界へ。

映像の演出をはじめ、空間・映像・最新テクノロジーを組み合わせた企画演出を行い、ファッションショーの演出や、新しいウィンドウディスプレイの創作など、「魔法的な体験」や「文化創造」に重きを置いた展示やイベントなどを行う。「惑星ハルボリズム」としても活動中。



ガリレオ工房

「科学の楽しさをすべての人に」を合言葉に様々な取り組みを行う創造集団。

NHK/Eテレ「大科学実験」、フジテレビ系ドラマ「ガリレオ」の実験監修なども手掛ける。

「スワリの森」担当は 滝川洋二(東海大学)・稲田祐(相模女子大学)・RUMIの3人。



森の学校 by 六本木未来会議

WEB マガジン「六本木未来会議」で行われたクリエイター同士の対談で、椿昇氏（現代美術家）、長嶋りかこ氏（アートディレクター）から提案されたアイデアを実現。都心の広大な緑の中で、感受性を育み、デザインのスイッチを押す企画が満載の、「森の学校」を特別開校いたします。

森の学校 / 校訓

「森の学校」は、椿氏、長嶋氏が校長先生に就任し、日本のデザイン界を牽引する多彩なクリエイターを迎えて企画する、夢の学校を具現化したものです。椿氏と長嶋氏が掲げる校訓をメインコンセプトに、様々な授業を提案します。

<校訓>

たとえば目の前に現れた、重くて、熱くて、怪我しそうなものは、それにゴチンとぶつかるから、手触りをもって体に残り、それを味わったり、考えたり、学んだりすることができると思うんです。目の前にさりりと現れたものは、文字通りさりりと体をすり抜けていってしまいます。手触りなく均一につるつるとした情報ではなく、ずしんと手触りのある、へんてこな何か。子供の頃には、整理しきれないへんてこな何かに、たくさん出会ってほしい。「森の学校」へ、おとも、こどもも、見つけに来てください。 校長：長嶋りかこ



▲校長：長嶋りかこ、椿昇

<校訓>

僕は子供のころ、納屋や納戸や橋桁の下で空想にふけることが大好きでした。そこには自分の好きなだけ時間があり、そこでは好きなだけ世界を創ることができました。その時の湿気を含んだ空気の臭いや朽木のボロボロ崩れる触感は、いまでも作品を生み出す強い力となって身体のだこかに刻まれています。なんともなんとも繰り返して人生を応援してくれる魔法の記憶は、視覚と触覚や臭覚が複雑にからみあった空間で育まれました。いま幼稚園からタッチパッドを使った情報教育が導入されていますが、僕は大きな危機感を持っています。指先をすべらせて文学を情報に切り刻む仕事を子供にさせるって、なんと残酷な仕打ちなのでしょう。ハンモックに揺られながら絵本を読むうちにねむってしまう豊かさを、大都会の小さな森から子供たちに返してあげたいと思っています。 校長：椿昇

<森の学校 / 青空教室>

「森の学校」の校長先生である椿氏、長嶋氏の2人が自信をもって推薦するトップクリエイターが、青空の下で夢の特別授業を行います。芸術の秋、自分の中にある「デザインのスイッチ」をめいっぱい押すことができるワークショップが、多数開催されます。

- 【期 間】 10月25日(土)、26日(日)／11月1日(土)、2日(日)
- 【主 催】 WEB マガジン「六本木未来会議」
- 【時 間】 11:00-17:00
- 【参加費】 無料(一部材料費あり)
- 【入 場】 自由(1日4講座を開講予定／詳細は東京ミッドタウン公式HPで告知)
- 【場 所】 ミッドタウン・ガーデン各所

■ 森の学校の先生

●大宮エリー氏（作家）

プロフィール：脚本家、CMディレクター、映画監督、作家、エッセイスト、コピーライター、演出家、ラジオパーソナリティなど様々な分野で活躍。



●荒井良二氏（絵本作家）

プロフィール：絵本の制作を中心に幅広く活動中。「山形ビエンナーレ2014」で芸術監督を務める。2014年12月には銀座グラフィックギャラリーで展覧会を開催予定。



《森の学校》参加クリエイター（敬称略、順不同）

幅 允孝／山口とも／遠山正道／井手茂太／浅葉克己／山縣良和／服部滋樹／尾池和夫／ホンマタカシ／名児耶ゆり／古川周賢／遠藤秀紀／椿昇／長嶋りかこ

森の学校 by 六本木未来会議

＜森の学校の図書室＞

「森の学校」には、青空ライブラリーも登場します。“ごろんとした異物に会う図書館”をテーマに、六本木未来会議に参加したクリエイターがデザインのスイッチがはいる図書を揃えます。どうしてスイッチがはいるのか、各クリエイターからのコメントもあわせて読むことができます。

- 【期 間】 2014 年 10 月 17 日(金)～11 月 3 日(月・祝)
【主 催】 WEB マガジン「六本木未来会議」
【時 間】 11:00-18:00 ※雨天中止
【参加費】 無料
【場 所】 芝生広場横ガーデンエリア



イメージ

【貸し出し図書例】

●『ぐりとぐら』(作:中川 李枝子/絵:大村 百合子)

推薦者: 箭内道彦(クリエイティブディレクター)

ちびくろさんぼのホットケーキ以上に、おいしそうだったカステラ。ものをつくるときのワクワクする気持ちは、ぐりとぐらにおしえてもらったのが最初です。クリエイティブにはレシピがあること、力をあわせるおもしろさ、みんながよろこんでくれることのうれしさ。幼稚園で何度も何度も読んだ絵本。あ、あのカステラはもしかすると「愛と平和」のことだったのかな。互いの違いを認め合えない世の中に、突然いまそう思いました。



●『北風とぬりえ』(著:谷内六郎)

推薦者: 葛西薫(アートディレクター)

谷内六郎さんの没後、少年時代の思い出を記した文と絵が書棚から見つかり、それが天野祐吉さんによって、近年、書籍となったもの。
子どものための、というより子どもになるための、
あるいは子どもたちにいつか読んでほしい本です。



●《森の図書館》参加クリエイター(敬称略、順不同)

水野 学/小山薫堂/柴田文江/遠山正道/猪子寿之/大宮エリー/片山正通/川村真司/
幅 允孝/原 研哉/浅葉克己/クライン ダイサム アーキテクト/宮島達男/永井一史ほか

DESIGN TOUCH Conference(デザインタッチ・カンファレンス)

「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH」に参画する豪華クリエイター陣が講師となって登場する、1 日限りのデザイン・カレッジが今年も登場します。「デザインのスイッチ」をテーマに世界のデザインや建築・プロダクトなど、テーマ毎にデザインの現在(いま)について話す 90 分です。

アルヴァロ・カタラン・デ・オコン氏、横山いくこ氏、川上典李子氏によるクロストーク(21_21 DESIGN SIGHT「活動のデザイン展」特別講義)や MAKE HOUSE—木造住宅の新しい原型展— (→p5)へ参加する建築家による特別トークなど、知や感性を持ち帰ることができる、貴重なイベントに無料で参加いただけます。

- 【期 間】 10 月 26 日(日)
【場 所】 東京ミッドタウン・カンファレンス
【料 金】 無料
【入 場】 事前登録制 ※当日入場も可
【主 催】 東京ミッドタウン



前回のデザインタッチ・カンファレンスの様子

Salone in Roppongi (サローネ イン ロッポンギ)

毎年4月、イタリア・ミラノで開催される、世界最大の国際家具見本市「ミラノサローネ」。「Salone in Roppongi」では、世界中の人々を魅了するこのデザインイベントで活躍する日本人デザイナーや日本企業に焦点を当てます。

今回は、ミラノサローネにおいて長年にわたって活躍し世界中から注目を集める、日本を代表するデザイナー吉岡徳仁氏が新作を用いたラウンジをデザインします。

また「ミラノサローネ 2014」の現地映像レポートや、注目を集めた日本企業の作品なども紹介します。

【期 間】 10月17日(金)～10月26日(日)
 【時 間】 11:00～21:00
 【場 所】 アトリウム
 【主 催】 Salone in Roppongi 実行委員会
 【協 力】 東京ミッドタウン



吉岡徳仁 Tokujin Yoshioka

デザインからアート、建築まで、幅広い領域で発表される実験的で革新的なクリエイションは国内外で高く評価され、その作品はデザインの領域を超え、アートとしても世界で高く評価されている。

数々の作品は、ニューヨーク近代美術館等の世界の主要美術館で永久所蔵され、世界のデザイン賞を多数

受賞。東京都現代美術館「吉岡徳仁―クリスタライズ」を開催したほか、TBS系「情熱大陸」、アメリカ Newsweek 誌「世界が尊敬する日本人 100 人」にも選出された。

イタリアで開催されたミラノサローネで、Kartell 社から発表した「SPARKLE」。本企画では、このプリズム効果によって光が屈折し、輝きを放つ、スツールとサイドテーブルのコレクションによるラウンジをデザイン。



吉岡徳仁 SPARKLE LOUNGE イメージ

「ミラノサローネ」:

毎年4月に、ミラノで開催され、53年の歴史を持つ、世界最大規模の国際家具見本市「ミラノサローネ」。

本会場であるローフィエラ・ミラノはもちろんのこと、フォーリサローネと呼ばれる市内全域で、デザイナーや建築家が家具にとらわれない様々なデザインやアートを発表。

ここから“デザインの潮流”が生まれる、まさにデザインの祭典。

MAKE HOUSE ―木造住宅の新しい原型展―

気鋭の建築家7組が、「パーツ化」というコンセプトに沿って、これからの住宅にふさわしい規格寸法の考え方から、今後の住宅ビジネスの仕組みまでを含めた提案を行い、それぞれが考えた多彩なアイデアをもとに住宅を設計します。

展覧会では、7組が設計した住宅の模型や図面などを展示します。建築家による設計案は、「パーツ化」が可能にする新しい住宅づくりの魅力的な「レシピ」となり、来場者の想像力を刺激します。さらに、建築家の提案から少なくとも1点以上が選ばれ、実際に建設し、販売まで行うことも同時に企画されています。

【期 間】 10月17日(金)～10月26日(日)
 【時 間】 11:00～21:00
 【場 所】 コートヤード
 【主 催】 株式会社エヌ・シーエヌ
 【監 修】 播繁、池田昌弘
 【企 画】 岡田栄造(S&O DESIGN 株式会社)

【参加建築家】谷尻誠/トラフ建築設計事務所/
 中山英之/長坂常/藤村龍至
 藤原徹平/吉村靖孝

【展示会場構成/デザイン】高濱史子



photo: Kenshu Shintsubo

映像インスタレーション by WOW / Presented by Smart Canvas

「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2010」にセイコーエプソンから出品された EPD Wrist Wear「Smart Canvas (スマートキャンパス)」。そのコンセプトモデルの一つであった、ヴィジュアル・デザイン・スタジオ WOW が制作した「工場と遊園地」が市販化された事を記念して、WOW 制作によるスマートキャンパスをモチーフにした映像インスタレーションの展示を行います。正時にはお客様に楽しんでいただけるサプライズの演出も予定しています。

期間中は、スマートキャンパスの世界観を表現したオリジナル映像作品に加え、実際の商品も見えて楽しんでいただける特別な機会となります。

- 【期 間】 10月17日(金)～11月3日(月・祝)
- 【時 間】 10:00～22:00(予定)
- 【場 所】 プラザ B1F メトロアベニュー
- 【主 催】 エプソン販売株式会社/セイコーエプソン株式会社
- 【協 力】 ワウ株式会社



※イメージ

INADA Stone Exhibition —Earth & Craft Park—

自然あふれる遊歩道をステージに繰り広げる、日本の伝統工芸と日本を代表するデザイナーたちによる人気コラボレーション企画です。国内屈指の最高級ブランド石材「稲田御影石」の産地より、石の匠とデザイナーが共演する「INADA Stone Exhibition」は、8回目となる今年、11作品を展示します。デザイナーが描いたユニークな作品を、緻密に彫り、磨き上げた御影石の彫刻作品が、ミッドタウン・ガーデンの道を飾ります。

そのほか、本企画では「八郷瓦」と「笠間焼」という伝統工芸にも注目。「JAGDA Kawara Exhibition」では、奈良時代が起源とも言われる八郷瓦に、JAGDA のデザイナーが彫刻を施し、新たな命を吹き込みます。ミッドタウン・ガーデンの水路に揺めく水の中で様々な表情を見せてくれます。

さらに、茨城県の国指定伝統的工芸品「笠間焼」をアレンジする「JAGDA Kasama Exhibition」では、笠間焼を「湯たんぽ」にして展示します。伝統工芸士によるちょっと不思議な形の湯たんぽのデザインに、グラフィックデザイナーが挑戦します。

- 【期 間】 10月17日(金)～ 11月3日(月・祝)
- 【場 所】 ミッドタウン・ガーデン他
- 【主 催】 (公社)日本グラフィックデザイナー協会茨城地区
稲田石材商工業協同組合
- 【協 力】 東京ミッドタウン

【主な参加デザイナー (INADA Stone Exhibition)】

松永真／上條喬久／仲條正義／U.G.サトー／森本千絵／永井一史
平野遼太郎／藤代範雄



※昨年の様子

※佐藤可士和作品

デザインタッチ アット ザ・リッツ・カールトン東京

ザ・リッツ・カールトン東京では、1Fのカフェ&デリの横のエントランスを入ると、写真家 尾形和美氏によるイタリア建築のデザインをテーマにした写真展を行うほか、ユニークなメニューやワークショップをご用意いたします。

◆アートコリドー

写真家 尾形 和美氏によるイタリア建築におけるデザインをテーマにした写真展。尾形氏が作り出すブラックアンドホワイトの画像に浮かび上がる、イタリア建築の洗練をご堪能ください。

- 【期 間】 10月17日(金)～11月3日(月・祝)
- 【時 間】 6:00～23:00
- 【場 所】 1F カフェ&デリ エントランス横 コリドー
- 【主 催】 ザ・リッツ・カールトン東京

◆ワークショップ&スペシャルメニュー

- 紅茶デザイン体験:紅茶のブレンドについて、スタッフが解説、お好みのフレーバーをデザインしていくセッション
- クラフト&ランチ:創立70年を超える浅草橋の老舗 つまみ堂とのコラボレーションで、日本の伝統工芸である簪の飾り、ちりめんで作る美しいつまみ細工の制作体験をしていただけます。スペシャルランチ付。
- イタリアンデザインアフタヌーンティ:アートコリドーの作品展示にインスピレーションを受け、「クープ・デュ・モンド・ドゥ・ラ・パティスリー2014」日本代表のペストリーシェフ、徳永純司が特別にデザインするアフタヌーンティ。

※価格や開催期間、詳細はザ・リッツ・カールトン東京のHPでご確認ください。

マツダデザイン展示

「人の心を強く揺り動かす美しいものを追求したい」。マツダは、この想いからクルマを工業製品と捉えずに、アートや芸術を生み出すという発想でデザインしています。それらはすべてマツダのアーティスト達の「ドライバーとクルマの関係を、よりエモーショナルなものにしたい。」という強い想いによって創造されています。

マツダのアーティスト達の手で丹精を込めて生み出されたラインナップを一同に展示します。「ワールド・カー・デザイン・オブ・ザ・イヤー」に2013、2014年と2年連続でトップ3選出を果たしたマツダのデザイン哲学を、体感いただけるまたとない機会です。

- 【期 間】 10月17日(金)～10月26日(日)
- 【時 間】 11:00～21:00
- 【展示車両】 新型デミオ、アクセラ、アテンザ、CX-5
- 【場 所】 キャノピー・スクエア
- 【主 催】 マツダ株式会社



※イメージ

デザインのスイッチ:これからのライフスタイル」展

2014年のデザインタッチのテーマ「デザインのスイッチ」。東京ミッドタウン館内各店舗が考える、普段の生活がちょっと豊かになる商品の展示を実施いたします。

- 【期 間】 10月17日(金)～11月4日(火)
- 【時 間】 11:00～21:00
- 【場 所】 ガレリア 3F 渡り廊下／ガレリア B1F
サントリー美術館3F 横
- 【主 催】 東京ミッドタウン



※イメージ

Tokyo Midtown Award 2014 受賞作品発表・展示

東京ミッドタウンのコンセプトでもある「JAPAN VALUE(新しい日本の価値・感性・才能)」を創造・結集し、世界に発信し続ける街”を目指す活動の一環として、今年で7回目を迎える「Tokyo Midtown Award」。次世代を担うアーティスト、デザイナーの発掘と応援を目的に、2014年も〈アートコンペ〉〈デザインコンペ〉の2部門で作品を募集しました。応募作品の中から、計14作品を選出し、「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2014」期間中に、受賞作品の発表、展示、授賞式を実施します。また、「Tokyo Midtown Award」のデザインコンペでこれまでに、商品化された作品を紹介する展示も予定しています。

■ Tokyo Midtown Award 2014 受賞作品発表・授賞式

【期 間】 10月17日(金) 16:30~17:30(予定)

【場 所】 東京ミッドタウン ホールB

※招待者のみのイベントです ※当日の様子は Ustream で配信予定

■ Tokyo Midtown Award 2014 受賞作品展示

【展 示】 10月17日(金)~11月9日(日)

プラザ B1F

※イベント期間中は、一般投票で人気作品を選出する

「オーディエンス賞」も実施します



昨年の様子



<アートコンペ>

【審 査 員】 児島やよい、清水敏男、土屋公雄、中山ダイスケ、八谷和彦

【協 力】 TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE

【後 援】 University of Hawai'i at Manoa / Department of Art and Art History

【テ ー マ】 なし(東京ミッドタウンという場所を活かしたサイトスペシフィックな作品を募集)

【賞 金】 グランプリ(100万円)、準グランプリ(50万円) 各1点、優秀賞4点(各10万円)

※グランプリ受賞者を University of Hawai'i のアートプログラムに招聘します。

実際にハワイに滞在し、現地大学のプログラムなどを体験いただける、またとない機会です。

<デザインコンペ>

【審 査 員】 小山薫堂、佐藤卓、柴田文江、原研哉、水野学

【協 力】 東京ミッドタウン・デザインハブ／アジアデザイン賞(DFAA)

【テ ー マ】 「和える」

【賞金】 グランプリ(100万円)、準グランプリ(50万円)、優秀賞(30万円) 各1点

審査員特別賞 5点(各5万円)

※グランプリ受賞者を、香港で行われるアジア最大のデザインイベント

「Business of Design Week」(12月上旬)へご招待します。

※これまでの受賞作品・概要は、公式WEBサイトをご参照ください。<<http://www.tokyo-midtown.com/jp/award/>>

富士山グラスで乾杯！

2008年度のTokyo Midtown Awardで審査員特別賞を受賞し商品化された「富士山(ふじやま)グラス」。このグラスを使用し、東京ミッドタウンの2店舗のレストランで生ビール等を提供します。

秋の夜長、デザイン談義とともに、小粋な一杯をお楽しみください。

【期 間】 10月17日(金)~11月3日(月・祝)

【時 間】 11:00~24:00※店舗によって異なる

【場 所】 OBIKÀ MOZZARELLA BAR、Ba-tsu(予定)

【主 催】 東京ミッドタウン



イメージ

Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2014

イベントラインナップ(同時開催イベント含む)

■スワリの森 DESIGN×SCIENCE

10/17(金)～11/3(月・祝) 芝生広場 【→p2】

Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2014 のメインコンテンツ
デザインと科学が融合した不思議なチェアが多数登場！

■森の学校 by 六本木未来会議

＜青空教室＞10/25(土)、26(日)、11/1(土)、2(日) ミッドタウンガーデン各所 【→p3】
多彩なクリエイターにより週末に開催される、子どもから大人まで楽しめる屋外授業

＜森の学校の図書室＞10/17(金)～11/3(月・祝) 芝生広場横ガーデンエリア 【→p4】
「ごろんとした異物に出会う図書館」をテーマにクリエイターが選書した青空ライブラリー

MAKE HOUSE

木造住宅の新しい原型展

10/17(金)～10/26(日)

コートヤード

【→p5】

Salone in Roppongi

10/17(金)～10/26(日)

アトリウム

【→p5】

DESIGN TOUCH

Conference

10/26(日)

東京ミッドタウン・カンファレンス

【→p4】

映像インスタレーション

by WOW /

Presented by Smart Canvas

10/17(金)～11/3(月・祝)

プラザ B1F メトロアベニュー

【→p6】

マツダデザイン展示

10/17(金)～10/26(日)

キャンピー・スクエア

【→p7】

デザインのスイッチ

これからのライフスタイル展

10/17(金)～11/4(火)

ガレリア 【→p7】

INADA Stone Exhibition

—Earth&Craft Park—

10/17(金)～11/3(月・振休) ミッドタウン・ガーデン 他 【→p6】

御影石や瓦など、日本の伝統工芸品と

デザイナーがコラボレーションした、触れて楽しめる作品展示

Tokyo Midtown Award 2014

授賞式・受賞作品展示

授賞式:10/17(金)

受賞作品展示:

10/17(金)～11/9(日)

プラザ B1F

【→p8】



Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2014

全体スケジュール

	EVENT/PLACE	10/17	10/18	10/19	10/20	10/21	10/22	10/23	10/24	10/25	10/26	10/27	10/28	10/29	10/30	10/31	11/1	11/2	11/3	11/4
		金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月・祝	火
1	スワリの森 DESIGN×SCIENCE 芝生広場																			
2	森の学校 by六本木未来会議 ガーデン 芝生広場																			
3	Tokyo Midtown Award 2014 受賞作品発表・展示 プラザB1F																			
4	DESIGN TOUCH Conference カンファレンス																			
5	Salone in Roppongi アトリウム																			
6	マツダデザイン展示 キャノピー・スクエア																			
7	MAKE HOUSE -木造住宅の新しい原型展- コートヤード																			
8	映像インスタレーション by WOW / Presented by Smart Canvas プラザB1F メトロアベニュー																			
9	INADA Stone Exhibition —Earth & Craft Park— ガーデン																			
10	デザインのスイッチ:これからのライフスタイル展 ギャラリー3F 渡り廊下/ギャラリーB1F/サントリー美術館3F横																			
11	富士山ガラスで乾杯! OBIKÀ MOZZARELLA BAR, Ba-tsu (ほか)																			
12	デザインタッチ アット ザ・リッツ・カールトン東京 ザ・リッツ・カールトン東京																			
13	GOOD DESIGN EXHIBITION 2014 ホールAB/アトリウム/キャノピー・スクエア/カンファレンス/デザインハブ																			
14	活動のデザイン展 21.21 DESIGN SIGHT																			
15	「高野山開創1200年記念 高野山の名宝」展 サントリー美術館																			

■ 「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2014」テーマについて

8 回目を迎える「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2014」。今年のテーマは、「デザインのスイッチ」。いつもの暮らしがデザインのチカラをプラスするだけで、ちょっとわくわくする。誰もが持っている「デザインのスイッチ」をたくさん押し、毎日の暮らしに彩りを添えるようなイベントを多数開催いたします。

■ 「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2014」メインビジュアル

今年のメインビジュアルを制作したのは、JAGDA 新人賞 2014 を受賞した鎌田順也氏。彩り豊かなグラフィックで、本イベントのテーマを伝えます。



【鎌田氏コメント】

スイッチを押す行為は、人差し指でボタンを押すのが一般的ですが、痕跡(指紋)を抽出することで、ボタンを押す行為そのものをイメージさせるデザインを考えました。また、指紋を用いてぺたぺたと夢中で絵を描く、わくわく感も同時に表現。大人も子どもも、このわくわく感を共有していただければ幸いです。



鎌田順也/Junya Kamada 1976年北海道生まれ。北海道東海大学(現・東海大学)卒業。2012年よりフリー。K D 主宰。主な受賞に、JAGDA 新人賞 2014、JAGDA 賞 2011、日本パッケージデザイン大賞金賞・銀賞・銅賞、日本タイポグラフィ年鑑ベストワーク賞、中国国際ポスタービエンナーレ銅賞など。東海大学、札幌大谷大学 非常勤講師。

■ 「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH」について

東京ミッドタウン(事業者代表 三井不動産株式会社)は、2007 年の開業以来、『"JAPAN VALUE(新しい日本の価値・感性・才能)"を創造・結集し、世界に発信し続ける街』をコンセプトに、街づくりを進めてきました。その一環として、「デザインとアートの街」としての都市の理想像を追求し、一年を通じてデザインとアートのさまざまな取り組みを展開しています。

その代表例である、「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH」は、インテリアやグラフィック、プロダクトはもちろん、ミュージック、フードなど文化を形成するもの全てを「デザイン」として捉え、それらを通して日常生活を豊かにすることを提案するイベントとして、『デザインを五感で楽しむ』をマスターコンセプトに 2007 年より始めました。

世界や日本の優れたデザインを紹介する「未知なるデザインと出会う場」として、2009 年の IDEO メンバーと一般参加者によるワークショップ「よりよい未来のためのデザイン」や、2010 年には世界的に名高いメディアアートに関する文化機関「アルスエレクトロニカ」とのコラボレーションなど、多岐に渡る取り組みをしています。

多くの人々が新たな発見をし、生活が豊かになる出会いの場として、そして子どもから大人まで、より多くの方にデザインを身近に感じていただける、東京を代表するデザインのイベントとして、今年もぜひご期待ください。

同時開催イベント

21_21 DESIGN SIGHT 企画展「活動のデザイン展」

20 世紀後半の情報革命以降、世界の距離はますます短くなり、私たちの生活や日々の意識は大きな変化の時を迎えています。知識や手法が高速で更新される一方、社会の不均衡や倫理、価値観を問い直す機会も増えています。

こうした時代に大切なのは、それぞれに考え、動き、確かに伝えること。あるいは地球上の各地で起きていることを少しでも共有しようとする姿勢ではないでしょうか。本展では「活動のデザイン」と題し、手にとることのできるものづくりにあえて限定せず、社会が抱える課題を読み解き、問題を解決しようとする意志や活動そのものに目を向けます。

展覧会ディレクターは、日本と世界のデザインの動きに精通したジャーナリストの川上典李子と、ストックホルムを拠点にアートとデザインのキュレーターとして活動を続ける横山いくこ。紹介するのは、世界を俯瞰するクリティカルなアプローチをはじめ、社会との新しい関係を築く提案、現在から未来を見通すリサーチです。

時にポジティブに、時に詩的な彼らの活動は、ものづくりという枠組みを超え、今後の社会におけるデザインの役割に多くの気づきをもたらすでしょう。

本展を通して、変動する世界におけるデザインの可能性を感じてください。

【期 間】2014 年 10 月 24 日（金）～2015 年 2 月 1 日（日）

【休 館 日】火曜日（10 月 28 日、12 月 23 日は開館）、
年末年始（12 月 27 日～1 月 3 日）

【場 所】21_21 DESIGN SIGHT（ミッドタウン・ガーデン内）

【時 間】11:00～20:00（入館は 19:30 まで）

【料 金】一般 1,000 円、大学生 800 円、中高生 500 円、
小学生以下無料

【主 催】21_21 DESIGN SIGHT

公益財団法人 三宅一生デザイン文化財団

【一般の方のお問い合わせ先】03-3475-2121

21_21 DESIGN SIGHT 企画展

活動のデザイン

THE FAB MIND

Hints of the Future in a Shifting World



2014.10.24 — 2015.2.1

www.21designsight.jp

21_21

グッドデザインエキシビション 2014 (G 展)

公益財団法人日本デザイン振興会 (JDP) は、日本を代表するデザイン賞として広く知られる「グッドデザイン賞」の最新受賞作を紹介するイベント「グッドデザインエキシビション 2014 (G 展)」を、2014 年 10 月 31 日 (金) から 11 月 4 日 (火) までの期間、東京ミッドタウンで開催します。

「グッドデザインエキシビション 2014 (G 展)」は、日本はもとよりアジア各地を含む海外来場者も多い国際的なデザインイベントで、2014 年度のグッドデザイン賞を受賞した国内外の企業やデザイナーによるデザイン全点を紹介します。デザインはいまやモノづくりをはじめ、建築などのハードウェア、アプリケーションやコンテンツなどソフトウェア、さらにまちづくりや社会貢献といったテーマに到るまで広く活用されるようになっていきます。そのため、グッドデザイン賞を受賞するデザインも多岐にわたり、「グッドデザインエキシビション 2014 (G 展)」ではそれらの受賞作を一堂にご紹介します。すべての受賞デザインの中で特にすぐれた 100 点である「グッドデザイン・ベスト 100」特別展示、デザインに対して意欲的に取り組む企業などのブース出展や、注目のデザイナーを招いたステージイベント、受賞商品の販売などを通じて、社会に息づくデザインの力をお伝えします。

- 【期 間】 2014 年 10 月 31 日 (金) ~ 11 月 4 日 (火)
- 【会 場】 東京ミッドタウン
- 【料 金】 1,000 円 (一部入場料不要なエリアがあります)
- 【主 催】 公益財団法人日本デザイン振興会
- 【問合せ先】 公益財団法人日本デザイン振興会
グッドデザイン賞事務局 (03-6743-3777)

